



なかのアセットマネジメント

なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

4月マンスリーレポート

(2025年3月末基準)

中野 晴啓からのメッセージ



なかのアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 中野 晴啓

トランプ旋風が吹き荒れる中で、昨年世界のひとり勝ちだった米国株式市場の方向感が強制転換されたかのように、3月は大きな調整局面入りを予感させる下落に見舞われました。

国内株式市場もその影響は免れず、3月の年度末最終日には年初来最大の下げ幅となりました。さて、新年度入り後に世界はどこへ向かうのか。

トランプ関税に世界中が報復関税で対抗することになれば、貿易活動は収縮し、地球規模でインフレ再燃を伴った経済減速が不可避となり、グローバルに企業業績が下押しされて、世界規模でのリセッション入りもあり得ることです。米国の内向き化で、安全保障の枠組みもガラポンが必至であり、米ソ冷戦終結以降の30年超にわたる社会経済構造のメガトレンドは大転換が始まったのです。

しかしながらどれほどのパラダイムチェンジが起きようとも、実体経済は人々の生活の営みが未来に向けて普遍的に続く限り、進歩と成長を希求し、実現させて行くことも普遍です。

本格長期投資家は決して今を憂いる必要はありません！いよいよ長期目線で、あらゆる苦難を乗り越える底力を持つ強い企業を選び抜く、骨太アクティブ運用が真価を発揮すべき時でありましょう。

ポートフォリオマネージャー居林 通より



なかの世界成長ファンド
ポートフォリオマネージャー
居林 通

トランプ政権の輸入関税の実施は我々の予想よりも速いスピードで進み、米国に製品を輸出している企業は、工場を米国国内に移転すべきか考慮しているでしょう。しかし、トランプ政権の関税政策は時に方針が翻されたりするので、企業としてはどこに工場を新設、もしくは移設するべきかを決めにくくなっているはずです。これは、経済全体として設備投資を抑制することにつながります。

こうした「不透明性」が株式市場に影響を与えています。2020年のコロナ禍の時期を除き、米国経済は2008年のリーマンショック以来景気後退を経験していません。これほど長く景気後退が来ないと「そろそろ景気後退が来るのではないか」と身構えたくになります。そのため、昨年まで好調であった米国株式市場も今年のパフォーマンスは振るいません。しかし、逆に欧州と香港の株式市場は好調です。欧州、特にドイツでは、主要政党が財政政策を拡大する方向に方針を転換しました。欧州の株式市場は米国の株式市場が冴えないことで逆に注目を集めています。なかの世界成長ファンドは世界の各地の競争力のある企業に投資し、安定した成長を目指して運用しております。

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
ホームページ：<https://nakano-am.co.jp/>



なかのアセットマネジメント

なかの世界成長ファンド

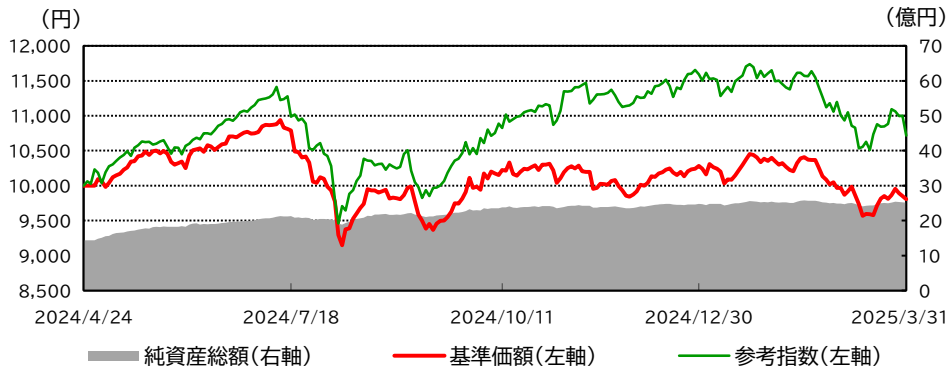
追加型投信／内外／株式

4月マンスリーレポート

(2025年3月末基準)

3月下旬までは安定しているかに見えた株式市場ですが、月末にかけて大きく下落しました。2月から組み入れを始めたスチュワート・インベスターズのファンドは分散効果を発揮してくれています。米国一強の時代が変わろうとしているのかもしれませんが、引き続き、混乱の中にも投資機会を見出してゆきたいと考えています。(居林 通)

●基準価額及び純資産総額の推移(2025年3月末現在)



基準価額
9,806円
純資産総額
25億円

※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。
※ 参考指数は「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社で円換算しています。
※ 純資産総額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

●騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	-2.4%	-4.6%	-3.0%	-	-	-	-1.9%
参考指数	-3.1%	-7.5%	2.6%	-	-	-	7.2%

※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

●資産の組入比率

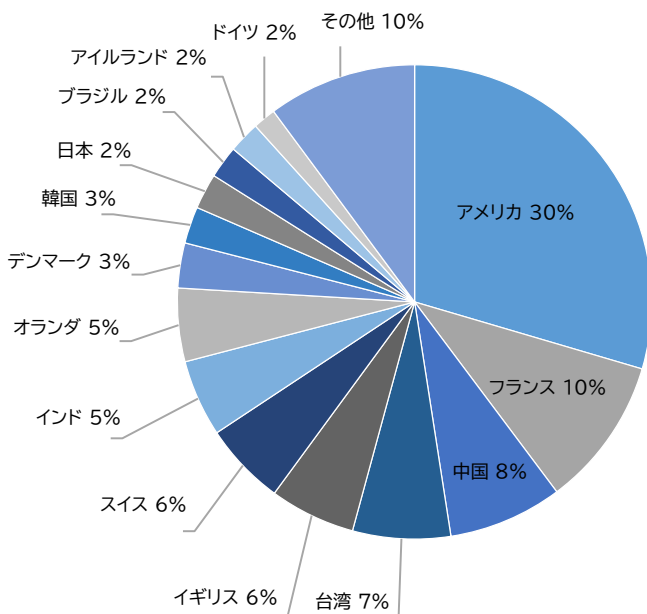
なかの世界成長マザーファンド	97.9%
現金等	2.1%
合計	100.0%

●分配金実績(一万口当たり、税引前)

決算期	-	-	-	設定来 合計
分配金	-	-	-	-

※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

●国・地域別株式比率



●投資先通貨別比率(上位5通貨)

米ドル	37%
ユーロ	19%
香港ドル	6%
スイスフラン	5%
インドルピー	4%

※ 「国・地域別株式比率」、「通貨別比率(上位5通貨)」はデータが入手できる2025年2月末の情報をもとに当社が計算しております。
※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

4月マンスリーレポート

(2025年3月末基準)

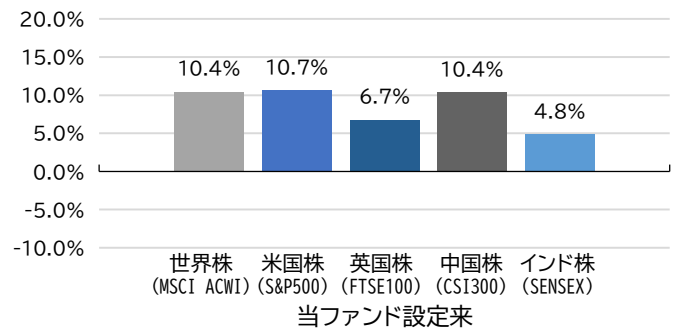
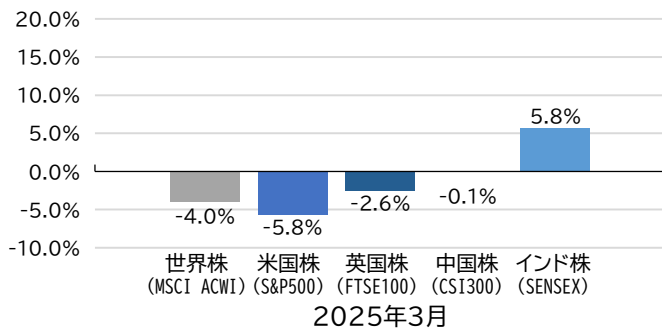
●組入ファンドの概要(なかの世界成長マザーファンド)

銘柄名	運用会社	騰落率 (月間※)	組入比率
	ファンド概要		
1 コムジェスト世界株式ファンド (適格機関投資家限定)	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社 世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。	-3.0%	28.4%
2 アライアンス・バーンスタイン・エマージング 成長株ファンド(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社 新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。	1.5%	22.1%
3 コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社 主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。	-3.1%	20.2%
4 アライアンス・バーンスタイン SICAV ーグローバル・グロース・ポートフォリオ (Fクラス)	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー 主として新興国を含む世界各国の株式等に投資します。長期で優れた利益成長を達成する可能性が高い企業に厳選投資します。	-6.7%	11.8%
5 ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV ーグローバル・インパクト・エクイティ・ ファンド(クラスS、円建て)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド 主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。	-3.3%	11.5%
6 スチュワート・インベスターズ・グローバル・ エマージング・マーケット・リーダーズ・ ファンド(クラスⅢ・円建て)	ファースト・センティア・インベスターズ(香港)リミテッド 優れた企業経営陣・文化、強力な事業基盤、強固な財務を備えた高いクオリティを有する、確信度の高い企業のみを組入れます。	-2.7%	3.8%
現金等			2.3%

※ 当月中に組入れたファンドにつきましては、当ファンドが保有した時点からの騰落率です。

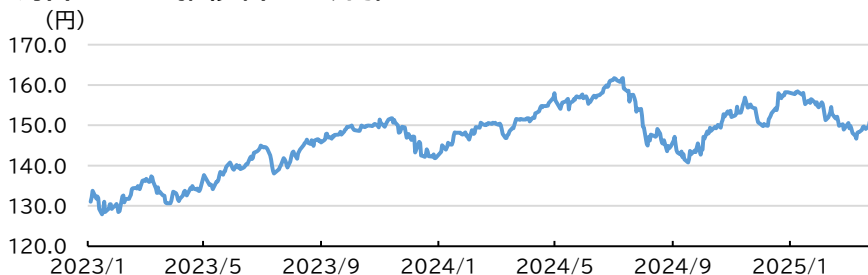
<ご参考>

●地域の代表的な株式指数の騰落率



※ 上記の指数は現地通貨ベースです。

●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。





なかのアセットマネジメント

なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

4月マンスリーレポート

(2025年3月末基準)

●各ファンドの組入上位5銘柄

コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	6.7%	-15.0%
2	マイクロソフト	米国	情報技術	6.3%	-10.8%
3	ビザ	米国	金融	5.7%	11.1%
4	イーライリリー	米国	ヘルスケア	5.1%	7.2%
5	リンデ	米国	素材	5.1%	11.6%

アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	8.6%	-15.0%
2	テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	5.8%	19.2%
3	SKハイニックス	韓国	情報技術	3.5%	10.4%
4	メディア・テック	台湾	情報技術	3.3%	0.3%
5	メイトウアン	中国	一般消費財・サービス	3.3%	2.7%

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	5.9%	-10.5%
2	エシロールルックスオティカ	フランス	ヘルスケア	4.9%	12.6%
3	ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	4.9%	-18.0%
4	アルコン	スイス	ヘルスケア	4.8%	8.2%
5	シュナイダーエレクトリック	フランス	資本財・サービス	4.7%	-12.5%

アライアンス・バーンスタイン SICAV グローバル・グロース・ポートフォリオ(Fクラス)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Amazon.com, Inc.	米国	一般消費財・サービス	5.3%	-13.3%
2	Microsoft Corp.	米国	情報技術	4.4%	-10.8%
3	Novo Nordisk A/S	デンマーク	ヘルスケア	4.0%	-18.0%
4	Sea Ltd.	シンガポール	コミュニケーション・サービス	3.8%	23.0%
5	Visa, Inc.	米国	金融	3.6%	11.1%

ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Linde	米国	素材	3.3%	11.6%
2	Eli Lilly & Co	米国	ヘルスケア	3.0%	7.2%
3	Danaher	米国	ヘルスケア	2.6%	-10.6%
4	Synopsys	米国	情報技術	2.5%	-11.6%
5	Roper Technologies	米国	情報技術	2.3%	13.6%

スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・リーダーズ・ファンド(クラスⅢ、円建て)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Taiwan Semiconductor (TSMC)	台湾	情報技術	8.9%	-15.0%
2	HDFC Bank	インド	金融	5.7%	3.1%
3	Samsung Electronics Co., Ltd.	韓国	情報技術	5.3%	8.6%
4	Mahindra & Mahindra	インド	一般消費財・サービス	4.6%	-11.3%
5	Tata Consultancy Serv. Ltd	インド	情報技術	3.8%	-10.3%

※ 原則、各運用会社からのデータを基に作成
 ※ 上記はデータが入手できる2025年2月末現在の情報です。
 ※ 「銘柄名」および「国・地域」は当社の判断で表示しています。
 ※ 「業種」はGICS(世界産業分類基準)によります。
 ※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。
 ※ 「過去3ヶ月リターン」は、現地通貨ベースで表示しています。
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。





～コラム～

株式市場におけるスーパースター現象は何をもたらすか？

音楽産業はしばしば「スーパースターエコノミー」の特徴を示すと指摘しています。これは、市場の大部分の利益がほんの一部のトップパフォーマーに集中している状況を指します。じつはこれは、音楽業界だけでなく、映画業界、スポーツ業界、さらには技術業界でも見られる現象です。

この現象は、コンテンツ(例えば音楽)のデジタル化により増幅されています。例えば、デジタル音楽配信プラットフォームが普及することで、人々は世界中のどこからでも音楽を簡単に購入・ストリーミングできます。そして、それらをSNSなどで共有・拡散することによって何が人気のある音楽なのかを他の人が簡単に知ることが出来ます。その結果、有名なアーティストの曲は「さらに有名」になり、世界中で広く聞かれるようになり、その収益も増大することになります。このようなフィードバック効果が例えば、アメリカの人気ポップ歌手 Taylor Swift (テイラー・スウィフト)さんのコンサートが非常な人気となり、チケットが転売市場で非常に高額になったことを指して、「スウィフトノミクス」なる言葉が作り出された背景にあるのでしょうか。

さて株式市場ではどうでしょうか？

株式市場でも似たようなスーパースター現象が起きることがあります。先月のコメントの中で我々は「現在の世界の投資家の注目が米国株式市場に一極集中している、そのなかでもMag7に極度に集中していると我々が考えている」と述べました。念頭にあったのは、2000年に起きたドットコムブームでした。しかし、2000年の時よりも現在はさらに、有名な企業がさらに有名になるというフィードバック効果が働きやすくなっています。新聞・雑誌という伝統的なメディアに加えて、SNS、動画メディア、オンラインのブログなどもし望めば個人投資家であっても数多くの投資アイディアに触れることが出来ます。その過程で、Mag7がなぜ将来にわたってビジネスを拡大してゆけるのか、という理屈付けも幾つも加えられます。(私はこれを「自己鍛造プロセス」と呼んでいます)そうすることによって、株式市場では買いが買いを呼ぶプロセスが強化されるのです。

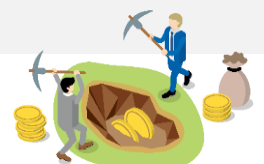
例を挙げましょう。かつてインターネットバブルの頃にはシスコシステムズという会社が非常に大きな人気を博していました。インターネットの普及は爆発的であり、そのデータ通信の根幹を担うルーターと呼ばれる装置を作っていたシスコシステムズは、そのマーケットシェアの高さとルーターのOSと呼ばれる基本ソフトウェアによって顧客を囲い込んでいるので他社は入ってこれないというストーリーで、株価は1999年には20ドルであったものが、2000年初旬には80ドルまで上昇しました。しかし、インターネットバブルがはじけた2002年には株価は10ドルまで下がってしまいました。予想に反して性能の良い、より安い競合製品が次々に出てきたためです。

スーパースター現象における問題は二つあります。

第一に、スーパースターのファンが必ずしも熱烈なファンでないことです。テイラー・スウィフトの大ファンではない人も「これだけ有名なので良い曲なのだろう」と一応テイラー・スウィフトの音楽を聴いたものの、一部はそのあと離れてゆくでしょう。第二に、スーパースター以外の音楽家にも非常に魅力的な音楽家がいるはずなのに、それらが世から注目されず埋もれてしまうことです。株式市場にもこれと同じことが言えます。みんなが買っているからと買いに入った投資家は、そのトレンドが続かなくなると離れてゆくものです。第二に、株式市場の中で過小評価されている企業を生み出すことです。しかし、これらは我々のような長期投資家には投資チャンスを与えることにもなるのです。そうした(良い業績と経営をしているにも関わらず)過小評価された企業群は、一時の投資ブームが去った次のタイミングで評価される可能性が高いのです。

なかの世界成長ファンドはこうした高い競争力と業績伸び率をもっているにも関わらず、まだ適正に評価されていない企業に分散投資することによって、長期的な投資リターンを高めてゆきたいと考えています。

(居林 通)





なかのアセットマネジメント

なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

4月マンスリーレポート

(2025年3月末基準)

●運用チームから

氏名	役職	コメント
 中野 晴啓	代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO)	4月25日で「なかの号」の長期投資は1周年を迎えます。当社はクオリティ＆グロースという確固たる独自の運用理念をトコトン貫くことを何より大事にしています。ここまで割安株が専ら優勢なバリュート相場が続く逆風環境の初年度でしたが、骨太ポートフォリオはしっかり確立して来ました。4月から運用チームに新たな仲間も加わって、メンバーは切磋琢磨し合うワンチームを強化させながら、各々は絶賛競走中です！世界全体が不確実性を深める中で、グッドカンパニーを凝縮させた「なかの号」の2年目からの浮上に大いにご期待くださいませ！
 山本 潤	運用部長 兼 チーフポートフォリオ マネジャー	トランプの関税政策や金利上昇の影響もあり株式市場はいまひとつ波に乘れない状況が続いています。しかし、企業の株主還元への姿勢はむしろ強まっており、株式投資の相対的な魅力度は高まっています。金利上昇や景気悪化の局面こそ、投資の好機なのです。目先の株式市場の動きに一喜一憂しないでください。投資先の企業価値は複利で順調に増加しています。企業価値の増大は株価を押し上げる力になります。わたくしどもと我慢強く永いお付き合いをしていただければ結果を出せる自信があります。
 居林 通	運用副部長 兼 シニアポートフォリオ マネジャー	世界の株式市場は2023年から米国のパフォーマンスが突出して良い状況が続いてきました。日本は新NISA制度が始まったことから、多くの資金が米国のインデックスファンドに向かいました。しかし今、米国の株式市場が動揺し始めているように見えます。嵐の時こそアクティブファンドのマネージャーの腕の見せ所と思い、気を引き締めております。
 菅 淑郎	シニアポートフォリオ マネジャー 兼 シニアアナリスト	最近、相次いで目覚ましいV字回復を遂げている企業を取材しました。(note運用部だより)昨年7月に佐藤が「V字回復」の勘所で紹介していた通り、「何としてもやり遂げる」という「経営者の覚悟」がそこにはありました。それが従業員の心に火を灯し、価値を創造するビジネスモデルに則して、正しい方向へと向かう仕組みが構築され、「組織カルチャーの強靱さ」に繋がっていく成功体験のスパイラルが見てとれました。この強靱さを更に強めていければ、それが企業のDNAになるわけですね。
 佐藤 栄二	ポートフォリオマネ ジャー 兼 シニアアナリスト	私の運用経験で大切なことを一つ挙げるとすれば、それは「謙虚であること」です。運用会社は、証券会社や企業の方々から丁重に接される機会が多いため、謙虚さを欠けば、次第に傲慢になっていき目が曇ってしまいます。私達は「愛とリスペクト」という社是のもと、自らを律し、お客様や市場を含む全利害関係者に対して、常に敬意をもって接するよう努めています。それでもなお、ふとした瞬間に気が緩むこともあるかもしれません。そんな時には、ぜひ皆様からご指導ご鞭撻を賜れましたら幸いです。
 大月 天道	シニアアナリスト	私が主に見ている、ヘルスケア、食品、日用品、半導体材料関連の企業は全体的に業績の底は打っているものの、短期的な方向感がつかみづらい状況が続いています。一方で、中長期的な視点ではすでに組み入れている銘柄以外にも、構造的な競争優位を有しており、グローバルでの成長が見込める企業のリストを増やすことができます。厳しい投資環境が続いている時だからこそ、スタイルに忠実に原理原則を守りながら、少しでもお客様に貢献できるようディープリサーチを進めて参ります。
 穂山 美知太郎	NEW シニアアナリスト	みなさま初めまして。4月からチームにジョインさせていただいた穂山(あきやま)と申します。これまで、資産運用会社にて投資先企業様とのエンゲージメントをはじめとしたスチュワードシップ関連のお仕事を10年ほど行ってきました。私たち自身が真剣に、最高の運用会社を目指してこそ、投資先の方々とも深みある対話ができると信じています。ご投資いただいている皆様までもがワクワクするような、当社のエンゲージメントの様子をお届けできるよう、日々取り組んでまいります。
 谷 亜矢野	アナリスト	今月も弊社公式noteについて、ご紹介させて下さい。noteでは各ファンドのポートフォリオマネジャーがそれぞれコラムを、その他運用部員がリレー式にて「運用部だより」を週一で投稿しています。私は月一回程度、なかの世界成長ファンドにて投資をしているファンド・オブ・ファンズ(FoF)について、各ファンドの投資哲学や投資プロセス、投資先等を詳しくご紹介中です。FoFについて、皆さまはどのような内容を知りたいですか？いいねやコメント、フォローをいただくと大変励みになります。
 関口 耕大	アナリスト	長期投資は2つの意味でプレゼントです。1つは、差し当たってお金を必要としない今の自分から、ライフイベントを迎える将来の自分に対して。もう1つは、社会に欠かせない企業の、事業に必要な人や設備の増強に対して。無論、株式投資であれば、プレゼントに対して配当という経済的なお返しを期待できるため、個人の幸福追求と社会善の追求とが健全に両立できます。目先のことを考えるのも魅力的ですが、プレゼントしたときの喜びを想像すると、やはり長期投資だなと思う今日この頃です。

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



なかのアセットマネジメント

なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

4月マンスリーレポート

(2025年3月末基準)

4月13日(日)マンスリー運用報告会in大阪<ロート製薬特別対談>開催します！

ロートは、ハートだ。



なかのアセットマネジメント

4月13日 マンスリー運用報告会in大阪

日時 4月13日(日)14時00分～16時30分

定員 100名

参加費 無料



なかのアセット運用チーム

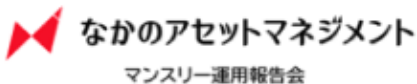
本セミナーにご参加いただいた方には、
『ロート製薬株式会社』様より
プチプレゼントをご用意しております。
詳細は当日のお楽しみに！

セミナー詳細はこちら



<https://nakano-am.co.jp/seminar/25041301/>

● 3月15日(土)マンスリー運用報告会の様子



当運用チームより各ファンドの運用状況、ならびに企業調査内容を
長期投資家の皆さまにお伝えする場として毎月開催しています。



その他セミナースケジュールは
こちら



<https://nakano-am.co.jp/seminar/>

3月15日(土)マンスリー運用報告会@茅場町を開催しました！

【プログラム】

1. 「なかの日本成長ファンド」について (山本 潤)
当ファンド2つの特徴
2. 「なかの世界成長ファンド」について (居林 通)
運用状況、運用戦略
3. 銘柄紹介 ソニーグループについて (佐藤 栄二)
新たなクールジャパンとソニーグループの成長性
4. 質疑応答

【2025年4月のオススメセミナー】

- 13(日)マンスリー運用報告会@大阪(大阪府)
19(土)tomatoセミナー@広島(広島県)
20(日)当社セミナー@高松(香川県)
26(土)当社セミナー@宇都宮(栃木県)

その他、オンラインセミナーも随時開催中♪



●投資コラム「トレンドとサイクル(その2)」

先月の投資コラム「トレンドとサイクル(その1)」で述べたように、今年2025年は日本国の趨勢の“歴史的な底入れ”での節目の年を迎えています。歴史サイクルのボトム圏において、重要な心持ちとしては、

- ① 低迷・衰退局面が長く続いたので、これまで沁みついている“諦め&ネガティブ思考”を排する
- ② 今回の衰退局面に至った主因を分析し糧とする
- ③ 次の新しい反騰・盛運局面での前向き・戦略的な諸策を認識することだと思えます。

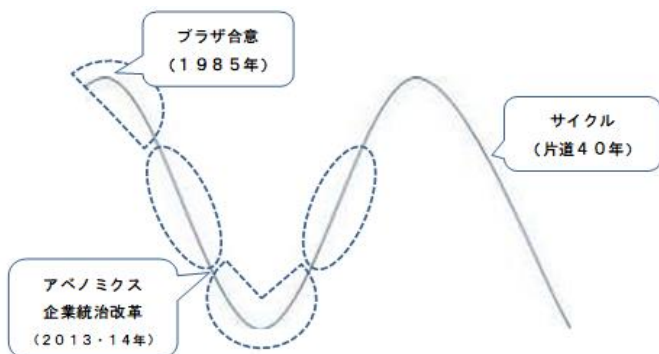
今回の衰退局面は、1985年の「プラザ合意」(先進5カ国により、米国の貿易赤字を削減する目的からドル高是正の為の強調介入を決定)が転換点のピークとなり、そこから経済の過度のバブル化とその反動としてのデフレ化の継続、それに対応した日銀による金融政策のタイミングやミスマッチが明らかになり、また「産・官・学の協調体制」により日本企業の優位性だった国際競争力も喪失する、という「(2013年でのアベノミクス発動時に言われた)失われた30年」の局面で、そこからさらに10年が経過しています。

アベノミクス(金融緩和+財政出動+規制緩和による3本の矢)は、当初設定された目標(2%物価)、期間(2年間)、程度(資金供給量2倍)が未達成のまま、その後も追加緩和策が逐次投入されました。2年前からの世界的な1次産品価格の上昇と円安推移により、消費者物価上昇率は3年連続してようやく2%を超えてきたことから、日銀は異次元緩和策を昨年3月に終了し、金利水準と国債保有残高を出口に向かつての修正に動き始めています。しかし、その達成には膨大な時間と労力が必要であり、金利上昇による日銀の収支状況と債務破綻のリスクを回避しながらの綱渡りを強いられることになります。

一方で日本企業と東京株式市場においては、過去10年間で前向きかつ効果的な改革政策が実現して実際に効果をもたらしており、画期的な変化が示現してきています。資本効率を意識した収益性の向上、株主(株価)に配慮した増配・自社株買い・株式分割などの株主還元策の拡充、企業統治の規範と行動指針を明らかにした上での自律的な経営、などの日本企業の好転を評価する投資家の動きが2024年から好循環となっています。

歴史的な循環サイクルは片道40年と認識されますが、その期間はピークアウト後の10年、衰退局面の20年、底入れボトム前の変革期の10年、というように分類されます。2010年代半から2025年までの直近10年間は、特に日本企業と株式市場において重要な変革期を迎えています。

(次月号に続く)



執筆者 プロフィール
常勤監査役 田淵 英一郎

1978年に野村證券投資信託委託(現野村アセットマネジメント)に入社以来、47年間資産運用業務に従事

企業調査アナリスト5年、ファンド運用17年、資産運用会社マネジメント業務17年、監査業務8年などの業務経験

野村アセット元執行役員株式投信運用部長、元執行役トレーディング本部長。野村ファンド・リサーチ元常務取締役

キャピタルアセットマネジメント元代表取締役社長。みんかぶ(現ミンカブ・ジ・インフォノイド)前常勤監査役。立正大学学園前監事

2024年7月よりなかのアセットマネジメント株式会社 常勤監査役



なかのアセットマネジメント

なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

4月マンスリーレポート

(2025年3月末基準)

～当社CIO(最高投資責任者)中野の見聞録～
【今月の総移動距離 1,828km】

東京⇒3/23(日) 大阪

東京⇒3/29(土) 徳島

4月も多くの皆さまに当社のことを知ってもらえ、各地へお邪魔いたします。



3月にGAIAさまとのコラボセミナーで訪れた大阪城の風景。



左下の写真は大阪駅屋上から眺めた大阪の街並みです。

今年2回目の徳島です。
徳島には至るところに阿波踊りが隠れています。
いつも新たな発見があります♪



～編集後記～

春ですね♪

駅前の桜の花が満開になっていました。4月は新たなスタートを切る方が多くいらっしゃるかと思います。当社の2ファンドも4月に1周年を迎え、2年目の新たなスタートを迎えます。引き続き当社2ファンドをご愛顧いただきますようお願い申し上げます。(秋元 祐毅)

follow me!

各公式SNSで情報を発信しています！



YouTube

note





●ファンドの目的・特色

ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

●投資リスク

基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



収益分配金に関する留意点

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- ・一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- ・委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- ・委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

●手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
信託期間	無期限(2024年4月25日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 ・ 純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。 ・ 信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。 ・ やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日) 第1決算日は2025年4月24日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ・ 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 ・ 当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ 配当控除の適用はありません。 ・ 益金不算入制度は適用されません。



ファンドの費用・税金

●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 年率0.605%(税抜0.55%) を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
	投資対象ファンド	年率0.4%～0.9%程度(税抜) ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。
	実質的な負担	年率1.3%±0.2%程度(税込) ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。
その他の費用・手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。 ※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。	

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●委託会社およびファンドの関係法人

委託会社 ファンドの運用の指図を行う者	なかのアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページアドレス: https://nakano-am.co.jp/
受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行う者	野村信託銀行株式会社



なかのアセットマネジメント

なかの世界成長ファンド

追加型投信／内外／株式

4月マンスリーレポート

(2025年3月末基準)

販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者		登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第一生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第657号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業 者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社北國銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第5号	○		○	
広田証券株式会社	登録金融機関	近畿財務局長(金商)第33号	○			
徳島合同証券株式会社	登録金融機関	四国財務局長(金商)第5号	○			

※ 販売会社には取次金融機関を含みます。

●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。